

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		次世代がん研究戦略推進プロジェクト		担当部局庁	研究振興局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度～		担当課室	研究振興戦略官付			研究振興戦略官 岡村 直子	
会計区分		一般会計		施策名	X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)、第3次対がん10か年総合戦略(平成16年文部科学大臣及び厚生労働大臣決定)、がん対策推進基本計画(平成19年6月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		次世代のがん医療の実用化に向けて、がんについての基礎研究から得られた革新的なシーズを戦略的に育成し、臨床応用を目指した研究を加速する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		簡便、高精度かつ非侵襲な早期診断法、再発・転移を抑える画期的な治療法、革新的ながん根治療法等の次世代がん医療を実現するため、継ぎ目無く臨床研究へとつなげることのできる仕組みを構築することで、革新的な基礎研究の成果を厳選、戦略的に育成し、平成27年度までに前臨床レベルでの有効性の確認等を行う。 また、がんの薬物療法において、個人の遺伝的背景に配慮した副作用・効果の予測や診断を可能とする医療の実現に向けて、ファーマコゲノミクス研究の成果を臨床応用するための取組を行う。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	-	-	-	3,600	4,451	
			補正予算	-	-	-	-	-	
			繰越し等	-	-	-	-	-	
			計	-	-	-	3,600	4,451	
		執行額	-	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(○年度)
		前臨床もしくは臨床研究段階へ移行した有望なシーズの数		成果実績	件	-	-	-	※
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		採択した有望なシーズの数		活動実績(当初見込み)	件	-	-	-	(※)
				算出根拠		単位当たりコスト=事業に投入した費用/有望なシーズの数 ※現在、外部有識者による会議において、有望なシーズの候補等を検討中			
単位当たりコスト		有望なシーズ1件あたりのコスト ※(円/件)							
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	科学技術試験研究委託費	3,597.1百万円	4,444.1百万円	研究の進捗に応じた研究支援基盤の強化による増額等					
	諸謝金	0.2百万円	0.6百万円						
	職員旅費	0.7百万円	2.7百万円						
	委員等旅費	2百万円	3.9百万円						
	計	3,600百万円	4,451.3百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	未契約
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	未実施
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○現在、研究実施体制を検討中であり、研究の開始に向けて、公正かつ効率的な運用を行うべき。 ○平成24年度には、研究の進捗により、研究支援基盤における阻害剤探索、プロテオーム解析等が本格化することにより、既存の研究基盤を活用しつつ、その機能を効率的に拡充する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえたものとなっており、執行面における課題もなく、事業の成果目標もたてられていることから、適切な事業と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省
3,600百万円

諸謝金等 0.2百万円
職員旅費 0.7百万円
委員等旅費 2.0百万円 } を含む

研究領域及び課題を選定し、マ
ネジメントを実施



【公募等・委託】

A. 大学等(全45機関)
3,597百万円

がんについての基礎研究から得
られた革新的なシーズを戦略的
に育成 等

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、
実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. 大学等(全45機関)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	次世代がん研究戦略推進プロジェクト	3,597			
計		3,597	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0